

2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 株式会社トライアルホールディングス 上場取引所 東
コード番号 141A URL https://trial-holdings.inc
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀田 晃一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員副社長 (氏名) 古橋 恵司 TEL 03 (6435) 6308
定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 2024年9月30日
有価証券報告書提出予定日 2024年9月27日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年6月期の連結業績（2023年7月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	717,948	9.9	19,161	37.2	19,789	37.8	11,439	41.5
2023年6月期	653,112	9.7	13,964	15.9	14,358	13.2	8,084	13.3

（注）包括利益 2024年6月期 12,110百万円（39.6％） 2023年6月期 8,673百万円（16.5％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	109.77	108.79	12.6	8.2	2.7
2023年6月期	82.90	-	13.1	7.4	2.1

（参考）持分法投資損益 2024年6月期 533百万円 2023年6月期 374百万円

（注）1. 2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

2. 2024年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2024年3月21日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2024年6月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	283,627	118,187	40.8	948.64
2023年6月期	200,639	68,020	32.8	677.00

（参考）自己資本 2024年6月期 115,684百万円 2023年6月期 65,885百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	59,497	△26,005	34,503	91,947
2023年6月期	18,445	△16,765	△5,192	23,898

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	-	0.00	-	13.00	13.00	1,265	15.7	2.1
2024年6月期	-	0.00	-	15.00	15.00	1,829	13.7	1.9
2025年6月期（予想）	-	0.00	-	16.00	16.00	-	-	-

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	406,146	11.8	12,270	6.1	12,733	6.3	7,786	12.1	63.66
通期	808,866	12.7	22,986	20.0	23,810	20.3	13,756	20.3	112.46

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 (社名) (株) トライアルチャレンジド、(株) 青森トライアル、(株) ティージャーオール大分、
(株) ティージャーオール阿蘇、除外 1社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	122,318,300株	2023年6月期	97,690,400株
2024年6月期	370,900株	2023年6月期	370,900株
2024年6月期	104,215,892株	2023年6月期	97,524,528株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年8月14日(水)に機関投資家及び証券アナリスト向けに決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年7月1日~2024年6月30日)における日本経済は、雇用や所得環境に改善の兆しが見え始めた反面、エネルギーコストや原材料価格の高騰に起因する物価上昇が顕著となりました。さらに、円安や世界的な金融引き締めによる景気への影響が懸念されるなど、先行きへの不透明感が継続しました。

小売業界においては、良いものをお得に買うための選別消費が進みました。外出や人が集まる機会が増えたことによって、高付加価値商品への積極的な支出が見られた一方、生活必需品は節約志向が高まるなど、消費者購買行動の二極化が顕在化しました。

そのような環境の中、当社グループが掲げる「テクノロジーと、人の経験知で、世界のリアルコマースを変える。」というビジョンを実現するため、新規出店による店舗網の拡大及び既存店売上高の成長を実現しました。

さらに、Skip Cart(決済機能付きレジカート)や、インスタサイネージ(電子看板)などの導入推進によって、便利なお買い物体験の提供や、データの蓄積及び活用を進める取り組みを実施してまいりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高717,948百万円、営業利益19,161百万円、経常利益19,789百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は11,439百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

なお、売上高については、外部顧客への売上高の金額によっております。また、セグメント利益又はセグメント損失については、未実現利益の消去等及び全社費用を調整する前の金額によっております。

(流通小売事業)

『あなたの「生活必需品」。』をコンセプトとして、食品や日用消耗品を中心とした豊富な商品ラインナップを、競争力ある価格で、24時間いつでもお買い物いただける店舗づくりを行っており、多様化するライフスタイルのあらゆるニーズにお応えしております。

生鮮食品や弁当惣菜などの「食」を強化しており、できたての美味しさにこだわった商品開発を行っていることが、お客様支持率向上につながっております。

当連結会計年度における流通小売事業の既存店売上高は、加工食品や生鮮食品など毎日消費する食品が牽引したことに加えて、惣菜の支持率が上昇したことにより好調に推移しました。

新規出店については、スーパーセンターを7店舗、smartを4店舗、小型店を30店舗出店した一方、スーパーセンターを1店舗、smartを4店舗、小型店を3店舗閉鎖しました。

なお、新規出店数には、2023年10月に青森県で食品スーパーを運営する株式会社佐藤長より譲り受けた18店舗(smart3店舗、小型店15店舗)を含んでおります。

当連結会計年度末の店舗数は、318店舗(うちFC3店舗を含む)となりました。改装は、メガセンターを5店舗、スーパーセンターを20店舗、smartを3店舗、小型店を2店舗改装しました。

以上の結果、当事業の売上高は714,921百万円、セグメント利益は21,887百万円となりました。

(リテールAI事業)

便利なお買い物体験の提供や店舗オペレーションの省力化を目指したリテールテクノロジーの開発及び面の拡大のための、投資を実施しております。積極的な投資を行う一方、赤字幅の縮小の兆しが見えつつあります。

Skip Cartの導入推進(2024年6月末時点の当社グループ外での導入も含む導入店舗数:223店舗、導入台数19,579台)によって、決済時にレジの列に並ぶ必要がないなど、お客様視点の利便性が向上していると同時に、店舗のスループット(時間当たりのレジ通過客数)が上昇しています。

以上の結果、当事業の売上高は918百万円、セグメント損失は520百万円となりました。

(その他の事業)

不動産・リゾート事業について、新型コロナウイルスの感染症の行動規制緩和が旅行需要を喚起しました。

訪日外国人観光客の増加によって、福岡県宮若市や大分県玖珠郡九重町(くすぐんここのえまち)などにおいて運営している旅館などに徐々に回復の兆しが見え始めております。

以上の結果、当事業の売上高は1,976百万円、セグメント損失は16百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ82,988百万円増加し、283,627百万円となりました。これは主として、現金及び預金が68,048百万円、流動資産その他が1,888百万円、建物及び構築物が3,569百万円、機械装置及び運搬具が1,121百万円、土地が3,313百万円、投資有価証券が1,116百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ32,821百万円増加し、165,440百万円となりました。これは主として、買掛金が29,985百万円、未払法人税等が2,588百万円、未払消費税等が2,432百万円増加し、長期借入金が2,968百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ50,166百万円増加し、118,187百万円となりました。これは主として、増資によって資本金が19,677百万円、資本剰余金が19,674百万円増加したことに加えて、剰余金の配当1,265百万円と親会社株主に帰属する当期純利益11,439百万円の計上により利益剰余金が10,174百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、91,947百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動より得られた資金は59,497百万円となりました。主な増加要因は税引等調整前当期純利益18,693百万円、減価償却費11,925百万円、仕入債務の増加額30,560百万円を計上したことであり、主な減少要因は法人税等の支払額5,508百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は26,005百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が22,601百万円、敷金及び保証金の差入による支出が1,321百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,559百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に得られた資金は34,503百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入が39,355百万円、長期借入金の返済による支出が4,435百万円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、社会経済活動の正常化が進み、経済活動は緩やかな回復傾向が続くことが期待されております。一方、不安定な海外情勢の長期化に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の常態化による物価上昇などで、引き続き個人消費の低迷や業種・業態を超えた販売競争の激化など、小売業を取り巻く環境は当連結会計年度と同様に厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況の中、当社グループは27店舗の新規出店、28店舗の既存店改装を計画しており、売上高808,866百万円（前年比12.7%増）、営業利益22,986百万円（前年比20.0%増）、経常利益23,810百万円（前年比20.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益13,756百万円（前年比20.3%増）と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を勘案しつつ、現時点においては国際会計基準の適用については未定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,898	91,947
売掛金	974	1,170
棚卸資産	46,388	46,440
その他	10,854	12,743
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	82,114	152,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	110,980	120,310
減価償却累計額	△40,779	△46,539
建物及び構築物 (純額)	70,201	73,771
機械装置及び運搬具	13,113	15,143
減価償却累計額	△8,085	△8,993
機械装置及び運搬具 (純額)	5,028	6,150
土地	18,160	21,474
建設仮勘定	786	2,416
その他	33,614	38,208
減価償却累計額	△24,791	△28,324
その他 (純額)	8,823	9,883
有形固定資産合計	102,999	113,694
無形固定資産		
その他	2,682	1,879
無形固定資産合計	2,682	1,879
投資その他の資産		
投資有価証券	4,660	5,777
繰延税金資産	1,917	2,880
建設協力金	1,486	1,747
敷金及び保証金	4,621	5,282
その他	156	64
投資その他の資産合計	12,842	15,752
固定資産合計	118,524	131,327
資産合計	200,639	283,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,852	101,838
1年内返済予定の長期借入金	4,426	3,949
未払金	8,162	7,449
未払法人税等	2,781	5,370
未払消費税等	494	2,927
契約負債	9,413	9,644
賞与引当金	468	732
ポイント引当金	599	723
その他	9,466	10,374
流動負債合計	107,666	143,010
固定負債		
長期借入金	15,164	12,195
資産除去債務	8,011	8,466
その他	1,776	1,767
固定負債合計	24,952	22,429
負債合計	132,618	165,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	19,777
資本剰余金	3,568	23,242
利益剰余金	61,778	71,952
自己株式	△529	△529
株主資本合計	64,917	114,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550	711
繰延ヘッジ損益	8	10
為替換算調整勘定	408	517
その他の包括利益累計額合計	968	1,240
非支配株主持分	2,134	2,503
純資産合計	68,020	118,187
負債純資産合計	200,639	283,627

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)	当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)
売上高	653,112	717,948
売上原価	527,841	575,596
売上総利益	125,271	142,352
その他の営業収入	2,366	2,493
営業総利益	127,637	144,846
販売費及び一般管理費	113,673	125,684
営業利益	13,964	19,161
営業外収益		
受取利息及び配当金	28	39
持分法による投資利益	374	533
助成金収入	125	245
工事負担金等受入額	—	138
その他	264	395
営業外収益合計	792	1,351
営業外費用		
支払利息	113	88
為替差損	111	90
固定資産除却損	30	430
その他	144	113
営業外費用合計	398	723
経常利益	14,358	19,789
特別損失		
減損損失	291	1,096
特別損失合計	291	1,096
税金等調整前当期純利益	14,067	18,693
法人税、住民税及び事業税	5,500	7,787
法人税等調整額	94	△932
法人税等合計	5,594	6,855
当期純利益	8,472	11,837
非支配株主に帰属する当期純利益	387	398
親会社株主に帰属する当期純利益	8,084	11,439

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)	当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)
当期純利益	8,472	11,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196	89
為替換算調整勘定	△16	87
持分法適用会社に対する持分相当額	20	94
その他の包括利益合計	200	272
包括利益	8,673	12,110
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,285	11,711
非支配株主に係る包括利益	387	398

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年7月1日 至2023年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	3,568	53,693	△169	57,192
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			8,084		8,084
自己株式の取得				△359	△359
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	8,084	△359	7,724
当期末残高	100	3,568	61,778	△529	64,917

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	352	4	410	767	1,746	59,707
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						8,084
自己株式の取得						△359
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	197	4	△2	200	387	588
当期変動額合計	197	4	△2	200	387	8,313
当期末残高	550	8	408	968	2,134	68,020

当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	3,568	61,778	△529	64,917
当期変動額					
新株の発行	19,677	19,677			39,355
剰余金の配当			△1,265		△1,265
親会社株主に帰属する当期純利益			11,439		11,439
連結子会社株式の取得による持分の増減		△3			△3
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	19,677	19,674	10,174	—	49,526
当期末残高	19,777	23,242	71,952	△529	114,443

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	550	8	408	968	2,134	68,020
当期変動額						
新株の発行						39,355
剰余金の配当						△1,265
親会社株主に帰属する当期純利益						11,439
連結子会社株式の取得による持分の増減						△3
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	161	1	108	272	368	640
当期変動額合計	161	1	108	272	368	50,166
当期末残高	711	10	517	1,240	2,503	118,187

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)	当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,067	18,693
減価償却費	10,849	11,925
減損損失	291	1,096
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	132	123
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	256
受取利息及び受取配当金	△28	△39
支払利息	113	88
持分法による投資損益 (△は益)	△374	△533
売上債権の増減額 (△は増加)	35	△143
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,111	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,582	30,560
その他	△1,071	2,699
小計	23,487	64,714
利息及び配当金の受取額	28	39
利息の支払額	△114	△86
法人税等の支払額	△5,007	△5,508
法人税等の還付額	52	339
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,445	59,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,897	△22,601
有形固定資産の売却による収入	224	66
有形固定資産の売却に係る手付金収入	—	50
無形固定資産の取得による支出	△847	△52
投資有価証券の取得による支出	△16	△428
投資有価証券の売却による収入	—	170
貸付金の回収による収入	0	0
建設協力金の支払による支出	△409	△390
建設協力金の回収による収入	309	129
敷金及び保証金の差入による支出	△295	△1,321
敷金及び保証金の返還による収入	167	706
事業譲受による支出	—	△618
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,559
その他	0	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,765	△26,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△4,756	△4,435
リース債務の返済による支出	△76	△17
自己株式の取得による支出	△359	—
株式の発行による収入	—	39,355
配当金の支払額	—	△1,265
非支配株主への配当金の支払額	—	△30
その他	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,192	34,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	54
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,533	68,048
現金及び現金同等物の期首残高	27,432	23,898
現金及び現金同等物の期末残高	23,898	91,947

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

2023年1月1日より、株式会社白鳥ロジスティックシステムを「流通小売」から「その他」へ変更しておりますが、2022年11月30日付で新設分割した会社であり、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報を変更後の区分方法により作成することが実務上困難であるため、前連結会計年度及び当連結会計年度の売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報は、変更前の報告セグメントの区分により表示しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、サービスの提供形態別のセグメントから構成されており、「流通小売事業」、「リテールAI事業」の2つを報告セグメントとしております。

「流通小売事業」は、主にディスカウントストア「トライアル」等の店舗を展開しております。

「リテールAI事業」は、主に店舗のスマートストア化に向けた研究開発、スマートストアに係る製品販売及び業務受託を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益とその他事業セグメントの利益の合計は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に市場価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2022年7月1日 至2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表 計上額 (注)3
	流通小売	リテール AI	計				
売上高							
外部顧客への売上高	651,167	708	651,876	1,236	653,112	—	653,112
セグメント間の内部売上高又は振替 高	7	5,136	5,144	1,527	6,671	△6,671	—
計	651,174	5,845	657,020	2,763	659,784	△6,671	653,112
セグメント利益又は損失(△)	16,069	△452	15,617	△100	15,516	△1,552	13,964
セグメント資産	181,826	3,193	185,020	5,463	190,483	10,155	200,639
その他の項目							
減価償却費	10,667	109	10,776	276	11,053	△203	10,849
持分法適用会社への投資額	2,771	232	3,004	—	3,004	—	3,004
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	19,030	150	19,181	386	19,568	△204	19,363

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産・リゾート事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△6,671百万円は、セグメント間取引消去△6,671百万円であります。
- (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,552百万円は、未実現利益の消去等△390百万円、全社費用の純額△1,162百万円であります。
- (3) セグメント資産の調整額10,155百万円は、セグメント間、その他及び振替高の消去△20,654百万円、各報告セグメント、その他に配分していない全社資産30,809百万円が含まれております。全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- (4) 減価償却費の調整額△203百万円は、セグメント間の消去等△236百万円、全社費用の33百万円であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△204百万円は、セグメント間の消去等△568百万円、全社資産363百万円であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自2023年7月1日 至2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表 計上額 (注)3
	流通小売	リテール AI	計				
売上高							
外部顧客への売上高	714,921	918	715,839	1,976	717,816	132	717,948
セグメント間の内部売上高又は振替 高	21	3,698	3,719	3,190	6,910	△6,910	—
計	714,943	4,616	719,559	5,166	724,726	△6,777	717,948
セグメント利益又は損失(△)	21,887	△520	21,366	△16	21,350	△2,189	19,161
セグメント資産	198,399	2,565	200,965	6,390	207,355	76,271	283,627
その他の項目							
減価償却費	11,757	86	11,843	321	12,164	△239	11,925
持分法適用会社への投資額	3,418	214	3,632	—	3,632	—	3,632
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	19,837	149	19,987	605	20,592	△326	20,266

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産・リゾート事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△6,910百万円は、セグメント間取引消去△6,910百万円であります。
- (2) 外部顧客への売上高の調整額132百万円は、事業セグメントに配分していない売上高であります。
- (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,189百万円は、未実現利益の消去等△40百万円、全社費用の純額△2,148百万円であります。
- (4) セグメント資産の調整額76,271百万円は、セグメント間、その他及び振替高の消去△18,366百万円、各報告セグメント、その他に配分していない全社資産94,637百万円が含まれております。全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- (5) 減価償却費の調整額△239百万円は、セグメント間の消去等△309百万円、全社費用の70百万円であります。
- (6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△326百万円は、セグメント間の消去等△415百万円、全社資産89百万円であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一区分のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高の金額が連結損益計算書の売上高の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高の金額のうち、連結損益計算書の売上高の金額の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)

(単位：百万円)

	流通小売	リテールAI	その他	全社・消去	合計
減損損失	240	—	50	—	291

当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)

(単位：百万円)

	流通小売	リテールAI	その他	全社・消去	合計
減損損失	678	290	127	—	1,096

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)

(単位：百万円)

	流通小売	リテールAI	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	42	—	42
当期末残高	—	—	170	—	170

当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)

(単位：百万円)

	流通小売	リテールAI	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	72	—	72
当期末残高	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)	当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)
1株当たり純資産額	677円00銭	948円64銭
1株当たり当期純利益	82円90銭	109円77銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	108円79銭

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
2. 当社は、2023年1月31日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2024年3月21日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から当連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自2022年7月1日 至2023年6月30日)	当連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	8,084	11,439
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	8,084	11,439
普通株式の期中平均株式数 (株)	97,524,528	104,215,892
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	934,926
(うち新株予約権 (株))	—	(934,926)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権15種類 (新株予約権の数9,450個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。